



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2009年9月号

「主題」・スローガン

- 国際会長 : 「一つとなる力」
 アジア地域会長 : 「一つとなる力」・「夢見るアジア、愛するアジア」
 西日本区理事 : 「すべてのいのちを大切に」・「いのち・平和・環境」
 中部部長 : 「ワイズの理念を胸に自信を持って活動しよう」
 プラザクラブ会長 : 「仲間と共にワイズを楽しもう」

〔Menette〕

9月例会・今後の予定ご案内

【9月第1例会】

日時：9月10日(木)・18:45-
 場所：名古屋YMCA会議室
 内容：オークション

【9月第2例会】

日時：9月24日(木)・18:45-
 場所：名古屋YMCA会議室
 内容：次月例会打ち合わせ
 出席者：役員(鈴木・榎田・高田)
 (義務者)10月担当者(小澤・万福寺)
 11月担当者(榎田・後藤)

【今後の予定】

- 国際協力キャンペーン 街頭募金活動
 日時：10月4日(日)
 集合：南山YMCA 9:00・名古屋YMCA 10:00
- 10月第1例会
 日時：10月8日(木)・18:45-
 場所：名古屋YMCA会議室
- 根の上祭り
 日時：10月12日(月・祝)
- 10月第2例会
 日時：10月22日(木) 18:45-
 場所：名古屋YMCA会議室
- EMCの会
 日時：10月25日(日)
 場所：名古屋YMCA 3F会議室

第13回中部部会

日時：9月6日(日)・受付：12:00
 場所：名鉄ニューグランドホテル 7階 椿の間

◆例会および各種行事の出欠席は、連絡主事の万福寺さんへ
 開催前日の午後5時までにご連絡ください。

8月例会・その他行事の出欠表 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者			算定
		1	2	M	
直前会長	大島 孝三郎	○	○	◎	○
	小澤 幸男	○	○		○
書記	榎田 守隆	○	○	○	○
	後藤 猛	○	○	○	○
	島崎 正剛	○	○		○
会長	鈴木 誉三	○	○	◎	○
会計	高田 廣	○	○		○
	松永 裕子				
連絡主事	万福寺 昭美	○	○		○
ゲスト					
(M)=	1. 四日市クラブ				
*メーキャップ	2. 楽例会				
*部会・Yの 主催行事					
出席率合計・(算定合計/会員数)%					88.9
1. ニコボックス・当月/累計		4000		9000	
2. オークション		0		0	
3. 切手(寄贈品含む)		0		0	
ファンド・当月合計/累計		4000		9000	
◆次月号の寄稿者は小澤さんです。					
Eメール・moritaka_kushida@ybb.ne.jp					

【お詫び】8月号の出欠欄役員名は間違いでした。お詫びして訂正いたします。

臨時例会

日時：8月4日（火）・18:30-20:30

場所：名古屋YMCA会議室

1. プラザHP 改定について・櫛田

「ワイズメンズクラブ国際協会西日本区中部ホームページ」のプラザクラブ欄が旧来のまま、と外部からの指摘があり早急に修正するとともに今後のあり方について討議が必要なため臨時例会を開催した。

(1) クラブ紹介欄

文面はそのままメンバー数、会長名などを修正して櫛田からグランパスの荒川さんに差し替えを依頼する。

(2) クラブ紹介欄の「ホームページはここをクリック」は機能していない

病気のため退会された山本さんのホームページには、会員の紹介写真集が掲載されておりますが、現在旧来の画面のままです。島崎さんは、当面これを生かして西日本区中部の「クラブ紹介」から山本さんのホームページを見られるように、荒川さんと相談する。

(3) 西日本区中部の冒頭メニュー「部役員・部長通信・・・」が現在「制作中」です

大島さんはクラブへの部長訪問を実施中ですので、気が付いたことや各クラブのブリテンを讀んでの感想などを文章にする。島崎さんは大島さんの原稿を基に、欄の構成、改定頻度を決めて1年間管理する。

(4) 総括

「ホームページやブリテンを充実させるために、みんなでパソコンを勉強しよう」と言われても「ハイ、そうですか」と承知しかねる人もいるだろう。七十の手習い、とかで今さら勉強でもあるまい、とは言え、やる人がいなければやらざるを得ない、小クラブの悲哀である。ともあれ、ブリテン担当者は連絡主事の万福寺さんに教えを乞いにYMCAへ通うことをみんなに強要された、様な気がする。せいぜいブリテンに写真を載せるためだけに・・・。

2. 中部部会のメネット会開催について・鈴木

さまざまな意見があったが、以下の通りとする。

・メネット会は、森愛子メネット事業主任を囲みケーキ・紅茶などで茶話会を開く。

・費用は1000円とする。

・島崎さんは森メネット主任に了解を取り、案内文を書いて8月8日までに中部の会長宛へEメールで送付する。

3. 講師大山泰弘氏への確認・鈴木

講演会の演題・当日の到着時刻・懇親会参加の有無など大山氏への確認事項は、松永さんを通じて早急に行いたい。

8月第1例会報告

日時：8月20日（木）・18:45-20:45

場所：名古屋YMCA会議室

1. 中部部会プログラム（進行表）説明・鈴木

2. 役割分担

プログラムに基づき役割分担を決める。

(1) 受付・会計：後藤

・資料配布：小澤・高田・万福寺

・応援2-3人他クラブに依頼（島崎）

(2) 写真：櫛田（集合写真は時間の都合で省く）

(3) 中部評議会・司会：島崎

・開会祈祷：渋谷氏に依頼（島崎）

(4) 中部部会・司会：鈴木

・聖書朗読 祈祷：西村氏に依頼（島崎）

・献金袋用意：後藤

・議事録：櫛田

(5) 講演会・司会：鈴木

・大山氏世話係：松永

(6) 懇親会・司会：島崎・鈴木

・食膳感謝：田之上氏に依頼（島崎）

・献金報告 贈呈：大島

(7) 参加者名簿作成：島崎

20日現在40人、最終締切日22日予定人数に達しない場合は25日までに各クラブテコ入れ、27日（第2例会）に最終参加者名簿を持参する。

(8) メネット会議事録：万福寺

(9) その他・献金先：ストップ ザ エイズ事業へ 森本氏に確認（島崎）

3. 当日配布資料および名札作成は27日に行う

(1) 中部評議会

(2) 中部部会プログラム

(3) 名札・YMCA 所有の枚数確認

4. 会場の再確認

27日以後2-3日以内に会場を訪問、テーブル数、1テーブル着席人数などを確認する。

5. 連絡事項・鈴木

(1) 北海道ポテト・9月第1例会に注文数確定。

(2) びわこ部部会案内

(3) 横浜大会にポハンクラブへ連絡・西日本区から要請。

(4) 東山荘募金・金額は3役で決める。

(5) 8月22日の楽例会・総参加人数22人
プラザ参加、大島・鈴木・後藤・櫛田

8月第2例会報告

日時：8月27日(木)・18:45-21:00

場所：名古屋YMCA会議室

1. 中部部会参加者数・98人
2. 中部部会プログラムの各項確認
議事原稿
×前年度事業報告・原稿書き直し
○前年度会計決算報告
○前年度会計監査報告
×本年度事業計画・原稿書き直し
○本年度予算案
○次期部長およびホストクラブ確認
○部会献金先
3. 詳細な事項取り決め(略)
4. 名鉄ホテル詳細打合せ・8/28 18:00-
5. プログラム帳票作業・名札作成・9/2 16:00-

パレットキッズとマス釣りを楽しむ

中央道の土岐から20キロほどの渋滞に遭ったが、9時半無事に今日の会場みやま荘に着く。

早起きの鈴木さんは既に到着している。竿に仕掛けをセット、バーベキュー小屋を整理して網と木串を借り、池にマス60尾を放流してもらう。11時ごろ小学生26人を含む子どもたち32人、キャンプリーダー17人、キャンプ場リーダー6人・森宗さんを含むYMCAの方々4人が到着する。

挨拶に紹介、リーダーを集めて餌のつけ方、外し方、トラブルの対処法など一通りレクチャーのあと、リーダーひとり一人に竿を渡す。さあこれから戦闘開始、と意気込んだが昨年の入れ食い状態とは違い静かである。餌を放っても食ってくれない、見える数が入れた数より少ないように思える。釣り上げたのを見て驚いた。放流した魚はイワナである。店の人が間違えたらしく、精算のとき「マスの料金をさせていただきます」と謝られ、得した感じだったが、釣るにはマスより厄介である。危険を感じると岩陰に隠れてなかなか出てこない特性がある。子どもの竿と一緒に持ちながら水面からのイトの長さを保つことを教えている後藤さんと島崎さんの指導が効いてきたのか、ポチポチと釣れはじめた。釣れるとまた一騒ぎである。魚を掴めない子やリーダーがいる。「2匹釣った」とこわごわ握ったイワナを目の前に突き出してカメラに納まる子もいる。ハリを飲んだ、イトが絡まった、何かに引っかかったとトラ

ブル係が忙しくなってきた。コツを掴んだのか、手ごろな岩の手前で餌をふわふわさせながら、辛抱強く待つ子の後ろでしばらく見ていた。やがて、ゆるりと岩陰から出てきたのを仕留めた粘りは見事である。

釣ったイワナをバーベキュー小屋に待機するリーダーへ嬉しそうに渡す。リーダーは腹を裂いて洗い、串に刺していろいろの網に並べる。朝方リーダーたちが作ったおにぎりといワナの塩焼きで昼食の用意が出来ました、と呼んでも池から離れようとはしない。

「ねえ、ねえ」と手を引っ張る小学校3年生ぐらいの女の子がいる。見るとズボンをたくしあげ、裸足である。「入っていい？」と言う。昨年池の水を抜いて魚の掴み取りしたことを覚えていたらしい。「もう少し待って」と何度も返事するが、すぐ「まだ？」と来る。根負けした。水が引くにつれ、岩陰に潜んでいたイワナが我先にと顔を出し、底を這うようにして水があるところに移る。待ちきれない女の子が2人入ると同時に、4-5人が僅かに残った水溜りでアップアップしているイワナ目がけて殺到した。あとは・・・戦場である。それにしても今どきの女の子は強いなあ！ 魚はほぼ獲りつくした、1時半終了する。

食事を済ませていない子はおにぎりを頬張り、掴み取りで汚れた子は、1列に並び裸になって体を洗ってもらっている。さっぱりして全員集合、バスに乗り込み、2時半予定通り名古屋に向かって出発する。お手伝いのみなさんご苦労さまでした。

楽例会報告

予定した料理人が急遽欠席のため開催が危ぶまれた楽例会は、東海クラブ浅野さんのご努力により、8月22日根の上キャンプ場で3時半から開かれた。大島中部部長の挨拶のあと、東海クラブ、名古屋クラブの「おやじバンド」がフォークやロック、ハワイアンなどを披露した。

20人ほどの観客は、ときどき外れる音や歌に「ぶっつけ本番で・・・」と舞台からの言い訳を聞き流しながらビール片手に楽しんだ。

近くの民宿「あかまんま」から取り寄せた料理をいただき、6時東海クラブの伊藤会長の開会挨拶で楽しいひと時が終了した。

(櫛田 守隆)

地球環境

久しぶりに自転車屋へ行ってみた。ずいぶん色々

な種類の自転車が沢山並んでいる。ひところはマウンテンバイクが人気だったが、今はロードタイプの自転車が流行っているようだ。確かに河川敷のサイクリングロードなどで流線型のヘルメットをかぶり、最新の自転車で疾走する人をよく見かけるようになった。自転車といっても使用してある素材や部品によって値段はピンキリ、大型スーパーなら1万円で購入できるがレース用となると100万円を超える物もあるようだ。そこまでなくても車体の1部がカーボンで出来ていれば7万円から10万円前後、全てカーボンならお買得品でも20万円位するようだ。カーボンフレームの自転車は重量も8kg位と車体が軽くしなやかだから走り易いし体にも優しい、高い部品は軽量で性能が良く値段は高くなるが、安全で長もちすると店員は一生物と太鼓判を押した。良い物を長く使う、何事にも共通する考え方だ。

なぜ自転車に興味を持ったかと言うと、今はモータリゼーションの時代で近くの買い物でも自動車で行く。非常に便利だ、しかしエネルギーが必要だ。だがエネルギー資源は限りがあるのと自然破壊だ、今少し思い直して昔の良い自転車の時代に戻したら、体にも良く運動不足の昨今良い健康法だと思う。

5月に小生中国旅行をした。テレビ等の報道で自転車が多いとばかり思っていたが、北京でも西安、上海でも自転車はまばら、自動車の大洪水だ。どの道路も大渋滞で身動きが出来ないと言っても過言ではない。空はスモッグと排気ガスで充満して空気は最悪だ。我が日本の20年から30年前の光景だ。

地球の温暖化は進むと思う、高度成長のツケが自然破壊に繋がっていると思う。森林の伐採で砂漠化が進み条件は増々(ますます)悪くなるばかりだ。地球全体を人類が考え直す時期に来ていると思うその一端として自分達の出来る事は、先ず燃料を使わない自転車を利用することから始めたらどうだろう。

(高田 廣)

聖書に由来する語句・慣用句・諺

【ゲール(寄留者)】

【(エジプト人を殺してしまったモーセは、同胞のヘブライ人に感付かれたと恐れて地方に逃れ、とある井戸の傍らに腰を下ろした。その場所で7人の娘が羊飼いの男たちにいじめられているのをモーセが救った。)彼女たちが父リウエルのところに帰った時、父は言った。「きょうはどうして、こんなに早く帰ってきたのか」。彼女たちは言った。「ひとりのエジプトびとが、わたしたちを羊飼たちの手から

助け出し、そのうえ、水をたくさんくんで、羊の群れに飲ませてくれたのです」。彼は娘たちに言った、「その方はどこにおられるのか。なぜその方をおいてきたのか。呼んできて、食事を差し上げなさい」。モーセがこの人と共にいることを好んだので、彼は娘チツポラを妻としてモーセに与えた。彼女が男の子を産んだので、モーセはその名をゲルシヨムと名づけた。「わたしは外国に寄留者(ゲール)となっている」と言ったからである。(旧約聖書・出エジプト記2.11-21)】

【創世記ではアブラハムの父テラは、ユーフラテス川下流を出発しハラン(メソポタミア中北部)に住んだ後、BC1900年頃カナンからネゲブ地方(パレスチナ)に定着するも飢饉に遭う。BC1500年頃、ヤコブは12人の息子たちを引き連れてエジプトに移住する。エジプトでは奴隷として酷使される。BC1200年頃、モーセは60万人の同胞と40年間かけて約束の地カナン目前で120歳の生涯を終える。モーセの使命を継いだヨシュアがヘブライ人を率いてカナンに入った後、士師(部族連合体の軍事指導者)の時代が続いた。BC1021年サウルがイスラエル最初の王となる。ソロモン王死後のBC922年北イスラエル王国と南ユダ王国に分裂、BC721年北イスラエル王国はアッシリアに、BC586年には南ユダ王国がバビロニアに滅ぼされる。BC539年ペルシャ帝国はバビロニアを征服し、以前捕虜としてバビロニアに送られたユダヤ人(バビロニア捕囚)は開放され元の地ユダ王国に帰還する。以後ユダ王国はペルシャ帝国の属州となりユダヤ教の大祭司が統治する。BC331年マケドニアのアレクサンドロス大王はペルシャを攻めユダヤを部下の将軍の支配下に置くも、BC198年にはシリアが撃退しシリアの領土に併合される。BC63年ローマ帝国のポンペイウスはシリアの主要都市を抑えユダヤに侵攻、エルサレムを占領する。66年ローマ帝国とユダヤ属州との間の第一次ユダヤ戦争、132年第二次ユダヤ戦争(バル・コクバの乱)が勃発、135年にローマ帝国が鎮圧、ユダヤの不安定要因はユダヤ教とその文化にあるとユダヤ的なものの根絶を目指すため、ユダヤ人はこの地から追放される。1948年国連決議に基づきイスラエル国が成立した。流浪の民ユダヤ人が、先月のブリテンに引用した「貧しい者と寄留者のために、これを残しておかなければならない。」の「寄留者」と他民族を呼んだのは、紀元前1021年をサウル王が支配する統一国家イスラエルの樹立年とすれば、国の歴史の半分にも満たない。】